

活動名		団体名	一般社団法人 ドリームマップ普及協会 広島支部
次世代リーダー育成「将来の夢を描くドリームマップ」を作ろう！ in HIROSHIMA		地域	広島県広島市
		代表者	広島支部代表 田岡 美江
		支援金額	20万円
活動概要	<p>1. 参加した幼稚園～小学6年生全員で自己肯定感をアップさせるワークを行い、将来なりたい自分の姿を台紙の上に写真や文字で表すドリームマップを作成し参加者と保護者の前で発表した。自己肯定感アップワークの内容は、自分の好きな事・得意な事や友達のいいところを発見し、言葉の言い換えやポジティブな言葉の体験し将来の夢や職業の下書きをした。自分の夢を台紙の上に写真や切り抜きを貼りビジュアル化してドリームマップを作成し、参加者全員の前で発表した。</p> <p>2. ドリームマップ作成中に、保護者向けの子育て座談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己肯定感を育む家庭の在り方」夢を育む声掛けの方法について考えた。 <p>◆実施時期 8月2日 広島市まちづくり交流プラザ</p> <p>◆参加人数 幼稚園/ 小学1年～6年 88名 保護者 72名 運営スタッフ 25名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:185名</p>		



ドリームマップ作成



自分を知るワーク



発表を聞く子どもと保護者



夢の発表

◆実施に伴う効果

- ・ドリームマップ授業を取り入れていない小学校より開催依頼があった。
- ・学校で開催されている保護者主催の PTC 活動で親子で将来の夢を考える講座を行ってほしいと依頼があった。
- ・参加した子ども達、保護者より他の地域でも開催して欲しいと言う意見が多くあった。

◆苦労した点

- ・予算
講師料や交通費に費用がかかったので、次回からは広島在住の講師を育成し経費削減を行いたい。
- ・外部への PR
PR については、教育委員会を通じてチラシを配布して頂いた為、多くの参加者を集める事ができた
- ・参加者
 - ①参加人数が多く、誘導やこどもの安全に対する人員配置に苦労した。
 - ②サポートするスタッフを今後は増やさないと対応が難しいと感じた、子どもへの声掛けなどコーチングの技術を勉強したスタッフが対応することが望ましく、スタッフ教育も必要と感じた。
 - ③会場の定員をオーバーしてしまい、今後は会場の変更が必要になってくる。
 - ③広島市以外の方からのお問合せも多く、年齢によっては保護者の引率が必要な為参加をお断りする場合もあり心苦しかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・課題
 - ①今回のイベントを広島市以外の場所でも開催して欲しいとの要望が多く、経費を抑えて開催できる仕組み作りが必要。
 - ②多くの学校でドリームマップ授業を開催する為には人材育成が必要と痛感した。
- ・発展の方向性
 - ①次年度は東広島市・呉市・廿日市市・福山市・広島市の 5 拠点での開催し 1 人でも多くの子どもが将来の夢を描ける場を提供する。
 - ②親向けの講座も同時に開催し、子どもの夢を応援する保護者を増やす。
 - ③企業やボランティア団体がこの活動を応援する事例を多く作ることにより、広島県の全小学校でドリームマップ授業ができ、企業が学校を応援する仕組みを作りたい。

◆活動を終えての感想・意見等

参加された子どもや保護者より、参加して良かった！ありがとう！の声を多く頂きました。今後の小学校での開催に向けて大きな PR になりました。